



令和 7 年 3 月 3 日

午前・午後 9 時 30 分 受領

No. 1

議長	事務局長	係
		

令和 7 年 3 月 3 日

愛南町議会議長 佐々木 史仁 殿

愛南町議会議員 吉田 茂生

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問の要旨	答弁を求める者
<p>1. 新しい地域公共交通の在り方について</p> <p>地域公共交通は、地域社会の持続可能性と地域住民の生活の質を支える重要なインフラです。しかし、現状では多くの課題に直面しています。特に高齢化や人口減少に伴い、利用者数の減少等公共交通機関の維持が困難な状況になっています。こうした地域の深刻な状況を踏まえ、2020年に自治体の地域公共交通計画の策定を努力義務化し、2023年には地域交通法改正を行いました。さらに、2023年9月には「地域の公共交通のリ・デザイン実現会議」を設立し、12府省庁及び有識者等で地域交通を再構築していくための議論を進め、2024年6月に取りまとめを公表しています。自治体の地域交通計画は、地域の交通問題を総合的に解決するための戦略的なガイドラインであり、交通渋滞の緩和、公共交通の充実、安全な歩行者環境の確保など、多岐にわたる目標を掲げています。今後の対策としては、地域の特性に応じた柔軟な交通サービスの提供が求められます。デマンドバスやライドシェアリングなど新しい形態の公共交通サービスを導入することで、住民の移動ニーズに対応することが出来ます。特にデマンドバスは、利用者の予約に応じて運行するため、利用効率の向上と運行コストの削減が期待されます。また、ライドシェアリングは住民同士の協力を促進し、地域社会の連帯感を強化する効果もあります。そこで、今後の愛南町の地域公共交通の在り方についてお伺いします。</p>	町長

- (1) コミュニティバスの乗車率や満足度、一世帯当たりの負担額等公共交通の現状についてお聞かせ下さい。
- (2) 利便性や満足度の改善策等についてお聞かせ下さい。
- (3) デマンドバスやライドシェアリング等今後の地域公共交通の在り方についてお聞かせ下さい。

2. 地域防災計画の重要性と対策について

地域防災計画は、自然災害から地域住民の生命と財産を守るために欠かせないものです。日本は地震や台風などの自然災害が頻繁に発生する国であり、地域ごとに防災計画を策定することは非常に重要であり、災害時の迅速な対応を可能にすると共に被害を最小限に抑えるための指針を提供します。まず、地域防災計画の重要性については、災害が発生した際には、初動対応が遅れると被害が拡大する恐れがあります。その為、地域ごとに詳細な防災計画を作成し、住民や自治体が迅速に対応できるように準備を整えることが求められます。また、地域の特性に応じた計画を作成することで、より効果的な対策を講じることが可能になります。例えば、海沿いの地域では津波対策が重要となります。次に、具体的な対策では、災害発生時の避難経路や避難所の確保が重要です。避難経路は地域の地形や道路状況に応じて設定され、避難所は災害の種類や規模に応じて適切に配置されるべきです。また、避難所には十分な物資が備蓄されていることが必要です。さらに、地域防災訓練の実施も重要であり、住民が防災訓練に参加することで、実際の災害時に冷静かつ迅速に行動するための知識とスキルを身につけることができます。その他、災害発生時には迅速な情報伝達が被害の拡大を防ぐ鍵となる情報伝達の確保も重要です。地域防災計画は地域住民の安全を守るための基盤であり、一度作成して終わりではなく、定期的な見直しと更新が重要です。新たな災害リスクの発見や社会環境の変化に応じて計画を修正し、常に最新の情報を反映させることが求められます。そこで、令和6年度愛媛県地域防災計画の修正概要に基づいて愛南町の修正計画等についてお伺い致します。

町長

- (1) 避難所の環境改善策についてお聞かせ下さい。
- (2) 避難所以外で避難生活を送る避難者等への支援策についてお聞かせ下さい。
- (3) 支援・受援体制の強化策についてお聞かせ下さい。
- (4) ヘリコプター離着場の整備拡充についてお聞かせ下さい。
- (5) 防災避難訓練の実施計画についてお聞かせ下さい。